

## 県連交流ハイキング報告

**【山行日】** 2014年 10月 26(日) 晴れ  
**【集 合】** 栃木市運動公園P AM 6:30  
**【費 用】** マイカー1台 : 交通費会負担  
**【メンバー】** CL:鈴木、 大西、島田、福田ケ、  
福田夕、渡辺

**【コースタイム】**栃木市運動公園 6:30＝宇都宮市森林公園P7:30～東屋広場 7:50/8:30～  
各コースに分かれスタート～東屋広場 11:45/13:30  
～森林公園P14:00＝栃木市運動公園P15:00



10/26(日)県連交流ハイキングが古賀志山で開催され、山人クラブから6名参加した。8時に宇都宮市森林公園第二キャンプ場下広場に集合し、開会式とストレッチを行った後各コースに分かれて出発した。今回は5つのハイキングコースが用意され、山人クラブは①298P～古賀志



山コースに1名と②天狗鳥屋山コースに3名、③中尾根コースに2名に分かれて参加した。

我輩は③中尾根コースにS氏と一緒に参加した。

8:30広場を各コース一斉にスタートした。赤川ダム北岸を左に進み、Y字路を右に細野ダムへ向かう。

細野ダムを過ぎ、左に折れ東屋の前を進むと登山口に出る。ここで二班に分かれ、我々の班は後から登る

ことにする。標識は無いが、明瞭な踏み跡を辿って登ると二股に分かれ、右の踏み跡を進みトラバース気味に進むとまた二股に出る。左の急な踏み跡を登ると、岩と岩の間を登るようになりロープが付けてあるが、スタンスがしっかりしておりロープに頼らなくても登れる。登り上がると尾根に出て、かもしか岩からのコースに合流した。尾根を西に向かって進み、一旦下って鎖場を登り返すと展望の良い軍艦岩出る。ここで休憩をとり、持ち寄ったリンゴや菓子を分け合っていた。

景色を楽しみながら他の会の方々と会話も弾み、相互の交流と親睦がはかれた。

この先はアップダウンを繰り返しながら尾根を忠実に歩き、北登山道ベンチへの分岐に出る。

ここからも主尾根を外さず、西にアップダウンのある岩場を登って行く。鎖場がある大きな岩は、左に巻いて進むと559ピークからの尾根に出た。尾根を左に進むと、やがて展望が開けた伐採地に出て休憩をとる。ここからは日光連山の眺望が素晴らしく、疲れた体が癒される。

伐採地に付けられた巻道を進み、尾根に出て南に下ると富士見峠に着く。ここから古賀志山山頂までは20分足らずだが、時間の関係で今回は左へ北登山道を降りる。北登山道は沢山の登山者で賑わっていた。ボーイスカウトの集団や、グループ登山、ファミ



りー登山の方達が登ってくるのですれ違うのも大変だった。ベンチの休憩場所に到着すると、①コースのグループが休んでおり、我々も休憩する。お互いにハイキングの様子など、情報を交換し会話が弾んだ。



ここから豪雨でえぐられ荒れた登山道をゆるやかに下り、橋を渡って右に進み釣り堀の先のY字路を右に曲がると広場に着いた。

広場でクールダウンのストレッチを行い、各会ごとに実行委員会が用意してくれたカップ豚汁とお湯をいただき、お互いのハイキングの様子を話ながら各自持参したお弁当を美味しくいただいた。

昼食後交流集会が行われ、NPO法人「古賀志山を守ろう会」理事の増田氏(県連会長)から、古賀志山を守ろう会の活動について説明があり、「守ろう会の活動や趣旨に賛同される方は、是非入会してほしい。」と呼び掛けがあった。

その後ビンゴゲームが行われ、悠遊HCの阿久津さんが軽妙な司会で皆さんを楽しませてくれた。

会のメンバーは3名ビンゴとなり、景品をゲットして喜んでいました。阿久津さんが、おまけのジャンケンゲームを用意してくれ、景品のDVDをめぐる真剣な眼差しで臨んだが、会のメンバーは早々と負けてしまい、ゲットできなかった。

最後に、実行委員長の松山氏から閉会の挨拶があり、楽しかった交流ハイキングが終了した。

